

地域コンテンツの共用を想定した情報通信メディアへの伝送実験について(報告書 概要版)

【実施目的】

地域コンテンツを共用し、様々な出力メディア(ワンセグ放送実験局、CATV、インターネット等)を活用して、イベント会場、地域及び全国への伝送実験を行い、地域コンテンツ共用及び利活用の可能性を検証するとともに、最適なコンテンツ共用の仕組みづくりについて検討を行う。

●目標

- ①地域コンテンツについて、共用に最適なファイル形式や仕様の検討、検証を行う
- ②地域コンテンツを共用するために最適な蓄積サーバの検討、検証を行う
- ③地域コンテンツ利活用に関する包括的システムの構築を目指した提案を行う

【実験等の概要】

- 「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」期間中(平成20年11月7日～9日)を中心に実施 資料1
- 共用した映像コンテンツ(合計294本)
 - ・事前の提供コンテンツ数:280本(地域に関係した映像が中心)
 - ・ライブ等の提供コンテンツ:14本(地域ICT未来フェスタ2008inとくしま・開会式、速報(12本)、四国コンテンツ映像フェスタ'08)

●コンテンツの共用、蓄積 資料2

提供コンテンツについて2種類のサーバを設置、蓄積。

- ①地域コンテンツサーバを構築(H20.9)し、ワンセグ実験用、CATV伝送用、インターネット配信用のコンテンツを蓄積
- ②なお、CATV会社(兵庫県側)との伝送実験用として、NASサーバを別立てで構築し、上記(1)のコンテンツ(一部)を蓄積

【成果】

- ①地域コンテンツ共用に最適なファイル形式等⇒NTSC準拠の品質を提案 資料3
- ②地域コンテンツを共用に最適な蓄積サーバ⇒フリーソフト等により共用のためのサーバを構築 資料3
- ③地域コンテンツ利活用に関するシステム等⇒ハード、ソフトの両面から最適な仕組み例の提案 資料4

【今後の展開】

- 地域コンテンツの流通促進をさらに高めることを課題とした今後の展開について、地域コンテンツの利活用先に対するニーズ調査と提供方法についてルールづくりなどの必要性を提案 資料5

【実験実施主体】

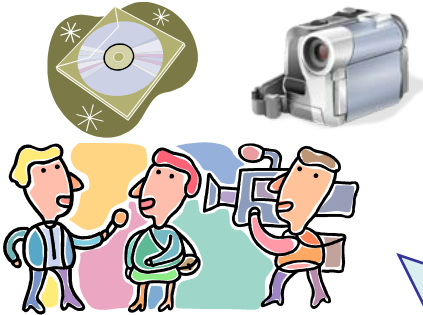
地域コンテンツ共用メディア実験協議会 産学官民:27会員、協力団体:4団体
事務局: 四国総合通信局情報通信振興課(コンテンツ流通促進担当)

地域コンテンツの共用を想定した情報通信メディアへの伝送実験(概要)

地域ICT未来フェスタ2008inとくしま 開催期間中(11/7~9)を中心に共用コンテンツ(地域映像)による情報通信メディアへの伝送実験を実施

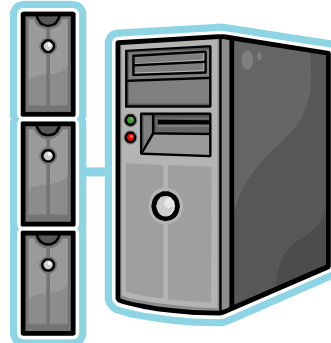
地域コンテンツ制作

四国大学、徳島文理大学
エクシード、徳島県自治体、徳島商工会議所
e-とくしま推進財団
徳島県ケーブルテレビネットワーク機構
兵庫県ケーブルテレビ広域連携協議会など



地域コンテンツ(共用)サーバ

(財)e-とくしま推進財団で運用、管理



映像データ蓄積

ワンセグ配信用、CATV伝送実験用、
インターネット配信用データ等を蓄積

蓄積した映像を地域情報、イベント情報、コンテスト作品などとして
情報通信メディアへの提供

地域ワンセグ実験局(2局)

免許人:アストロデザイン(株)
視聴エリア:アスティとくしま、JR徳島駅周辺



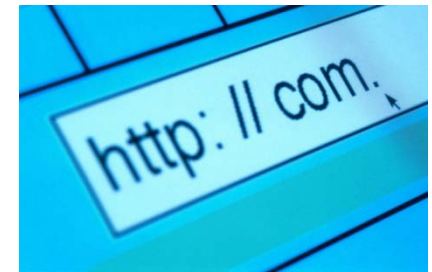
JR徳島駅周辺:H20.10.24~11.9
アスティとくしま:H20.11.7~9
実験参加:11200人

CATV事業者(兵庫県 BAN-BANテレビ)



地域コンテンツサーバからCATV
会社(兵庫県BAN-BANテレビ)
へ伝送(H20.11.7~9)

インターネット、インターネットTV
(e-とくしま推進財団、SHE KNOWS JOURNAL)



<http://1seg.ict-tokushima.jp/>

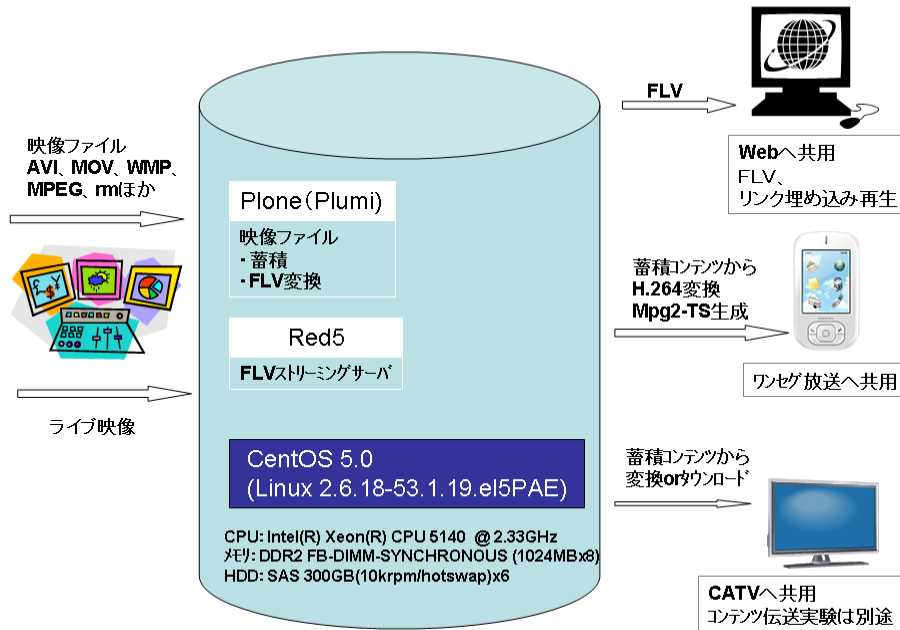
http://www.radiojapan.jp/ict_tokushima/newsflash.html

地域コンテンツサーバからの提供(H20.11.4~現在)

コンテンツ共用イメージ及び利用したコンテンツのメディアごとの共用状況

構築した地域コンテンツサーバのイメージ

さまざまなファイル形式等を受け入れ蓄積し、
3つの情報通信メディアへ配信する



実証実験において利用したコンテンツのメディア毎の共用状況

下表の変換、共用の状況からNTSCレベル、AVI形式を
共用に最適なコンテンツの仕様例として提案する

ファイル形式の種類	ワンセグ	CATV	インターネット	地域コンテンツサーバ
各メディアでの提供ファイル形態	Mpeg2-TS (320×240)	DV形式 type1 (720×480)	FLV、WMVなど (720×480)	
AVI	◎	○	◎	○
H.264	○	—	—	○
DV形式	◎	○	◎	◎
MPG1	◎	—	◎	○
MPG2	◎	◎	○	○
DVD形式	◎	◎	◎	◎
FLV	◎	—	○	○
WMV	◎	—	○	○

完パケ・素材映像:280本、ライブ映像14本 合計294本の提供があった

- ・市町村紹介 (地域情報・街づくり紹介・イベント紹介)
- ・観光案内 (名所・名産PR、イベント紹介、商店街情報、交通機関利用紹介)
- ・学校関係 (全般PR、施設PR、クラブ紹介、関連CM)
- ・飲食店案内 (徳島ラーメン特集、アスティとくしま周辺お勧めランチ店)
- ・「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」フェスタ関連 (PR、アクセス方法、ブース紹介、イベント紹介・速報)
- ・「地域コンテンツ共用メディア実験協議会」取組紹介
- ・「四国コンテンツ映像フェスタ'08」応募作品
- ・その他 (行政、チャレンジコンテンツ等)

◎変換共用
○共用
×共用不可
—使用なし

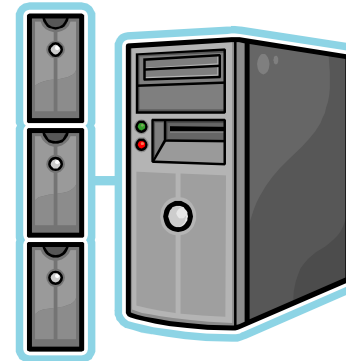
地域コンテンツを共有するための最適なシステム例(実験結果から)

地域コンテンツを共有した情報通信メディアによる伝送実験において構築したシステム例である。

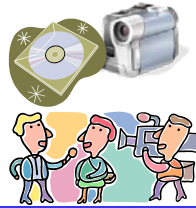
地域コンテンツ(共用)サーバ

CPU Intel(R) Xeon(R) CPU 5140 @ 2.33GHz
メモリ DDR2 FB-DIMM-SYNCHRONOUS (1024MBx8)
ハードディスク SAS 300GB(10krpm/hotswap)x6

画像投稿/閲覧インターフェース: Plone (Plumi)
変換ソフト: AVI、MPEG、H.264⇔FLV: IndyTube
MPEGファイル作成: ffmpeg
ライブupload & 配信: RED5 (FLV)
コンテンツ検索機能: FFTS



地域コンテンツ制作
住民、学生、NPO、自治体
地域メディア等が作成



- CATVの利活用に必要な品質(画質、フレームサイズ 720×480:NTSC以上)で作成
- クレジットの表示の統一
- 著作権等の意思確認(セルフチェックシートの活用など)
- 短編コンテンツでは、時間尺の統一により、複数束ねることで長編の番組編成も可能となり、複数メディアでの利活用を図ることができる

出力先となる情報通信メディアに応じたコンテンツの形態に変換しながらコンテンツ共有を行う

蓄積したコンテンツから必要なものをキーワード等により検索し、抽出することが可能(映像検索機能)

時間尺: 5分以内の地域コンテンツが望ましい
ファイル形式: MPEG2-TS:H.264+BML変換

地域ワンセグ・イベント用ワンセグ放送(実験局)



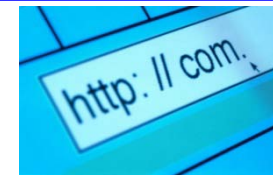
時間尺: 放送番組(時間枠)に応じた時間尺が望ましい
ファイル形式: AVI+コンテンツメタデータ等の作成

CATV事業者
自主チャンネル等で可能な範囲で配信



時間尺: 特に最適な時間尺があるものではない
ファイル形式: MPEG、MOV、WMPなどをFLV変換

インターネット、インターネットTVなど



※成果の実効性を高める今後の展開について
地域コンテンツの利活用先に対するニーズ調査と提供方法についてルールづくりなどの検討が必要

地域コンテンツの利活用で「つながる」仕組み例

今回の実証実験の成果に、マンパワーを含めたソフト面からのアプローチを加え、地域コンテンツの利活用を図るためのハード・ソフト両面からの仕組み例を示す。

**コンテンツ制作のための
マニュアルづくり**
楽しくコンテンツ制作するための
撮影スキルの習得、
必用最少限のルールの理解

地域コンテンツ制作
住民、学生、NPO、自治体
地域メディア等が作成

映像制作研修会等の開催
地域で気軽にコンテンツ
制作のスキルやノウハウを
習得できる機会を設定

「つながる」マンパワー編



**地域コンテンツ
プロデューサ**
地域コンテンツ企画、制作
コンテンツ制作者と出力先の
コーディネートや橋渡しなど

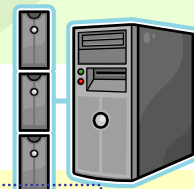
**地域イベントや
キーパーソンとの連携**
PRや活動ツール
として利用いただく

**受講者から
輪を拡げていく**
いずれは
受講者が講師へ

制作目標を設定
コンテストへ出品、
利活用先などの検討、
地域メディア等との連携

**配信等に関する
ルールづくり※**
地域コンテンツの出力先となる
メディアに関するニーズ調査
出力のための条件等の把握

「つながる」プロデュース編



**地域コンテンツ
(共用)サーバー**

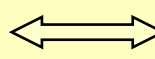
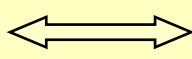
「つながる」モデル化

地域コンテンツ利活用先 情報通信メディア

携帯端末、電子看板
(デジタルサイネージなど)

CATV、テレビ、ラジオ放送局
(自主チャンネル等で可能な範囲で配信)

インターネット
(インターネットTV、ホームページなど)

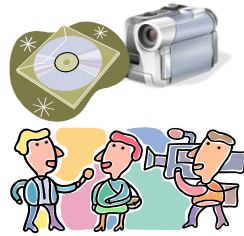


地域コンテンツの利活用モデルの構築

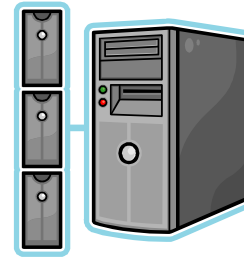
※今後の展開 地域コンテンツの利活用で「つながる」を具体化する方策 ～地域コンテンツの利活用に関する調査の提案～

地域コンテンツの利活用先となる地域メディアごとの配信ニーズや条件などの実態調査及びルール化についてイメージしたもの

地域コンテンツ制作
住民、学生、NPO、自治体
地域メディア等が作成



地域コンテンツ(共用)サーバ



出力メディア(コンテンツ利活用先)のニーズに合わせた提供方法について検討が必要
コンテンツ利活用先のニーズや実態を調査

共通のルール(条件、制限など)

- 権利許諾、処理の関係
- 分野、テーマについて
- 対象者について
- コンテンツの諸元(ファイル種類)
- セルフチェックシートの内容確認
- 責任の所在など

個別のルール(条件、制限など)

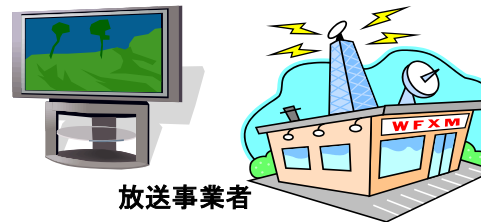
- 時間尺
- コンテンツの諸元(ファイル種類)
- スポンサーの有無
- 営利、非営利
- その他

携帯端末、電子看板
(デジタルサイネージなど)



道の駅、ホテル、商店街
街角、郵便局など

CATV、テレビ、ラジオ放送局
(自主チャンネル等で可能な範囲で配信)



放送事業者

インターネット
(インターネットTV、ホームページなど)

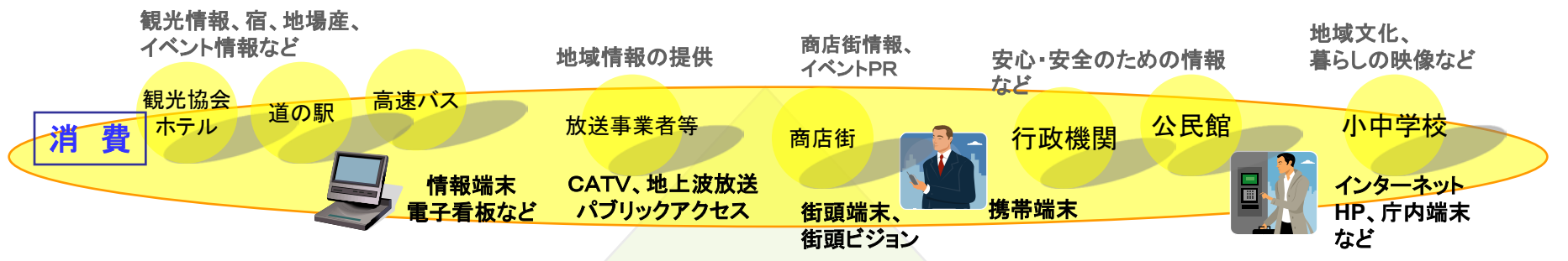


自治体、教育機関
道の駅、郵便局など

コンテンツの制作、利活用シーンで役立てるための
出力メディアに関する共通ルール、個別のルールを作成する

地域コンテンツの利活用に関するモデル構築を目指した取り組みについて

ブロードバンドの利活用を図るとともに、地域づくり、人づくりを目指します



地域コンテンツ地産地消によるモデル化を実現(21年度)

地域コンテンツ利活用のためルールづくり(20年度～)
地域コンテンツの利活用に関するガイドラインを検討

課題 地域コンテンツの利活用に関する仕組みづくり
成果 地域コンテンツの共用を想定した情報通信メディアへの伝送実験

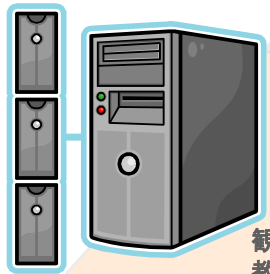
地域コンテンツ・マトリクスサーバ(19、20年度)

課題 地域コンテンツ円滑な流通のための仕組みづくり
成果 地域コンテンツ・サーバの構築の実証実験

地域コンテンツ制作(19年度)

課題 地域コンテンツの生産力向上、地域コンテンツ円滑な利活用のための仕組みづくり
成果 地域コンテンツ制作活用ガイドブックver.1
地域コンテンツ制作支援パッケージ(映像研修支援制度)

流通



生産



地域文化、風景、イベントなどの映像、音、写真など